

〔浴室・トイレ・洗面所用〕

中間取付形ダクトファン
（プラスチックボディタイプ）
形名（24時間換気機能付タイプ）

V-12ZMC5	V-13ZMC5	（1部屋用）
V-15ZMC5	V-15ZMKC5	（1～3部屋用）
V-15ZMKC5-T	V-18ZMC5	
V-18ZMC5	V-18ZMPC5	（4～6部屋用）
V-18MSX2	V-18MPSX2	

バス乾燥・暖房・換気システム専用
中間取付形ダクトファン
（プラスチックボディタイプ・金属枠付）
形名（24時間換気機能付タイプ）

V-18ZTM5	（1～3部屋用）
----------	----------

据付説明書

販売店・工事店さま用

据付けを始める前にこの説明書をよくお読みになり、正しく安全に据付けてください。

別冊の「取扱説明書」はお客さま用です。必ずお渡しください。

- 据付け、壁穴工事はお買上げの販売店・工事店さまが実施してください。
- 電気工事は電気工事の方が実施してください。
- この製品は、浴室・トイレ・洗面所・居間・事務所・店舗の天井裏に据付けてください。それ以外の用途には使用しないでください。故障の原因となります。
- この製品には市販の埋込スイッチ、またはシステム部材のコントロールスイッチおよび吸込口グリルが必要です。（吸込風量を調整する場合はシステム部材の風量調節機構付排気用グリルをご使用ください）その他扇風機フードなどは三菱換気送風機総合カタログにより別途ご用意ください。
- 当社製以外の電子式スイッチ（半導体制御による速調スイッチ・タイマーなど）やボタルスイッチをご使用の場合は組合せ上、不具合の発生するおそれがありますので、ご使用の際はあらかじめご確認ください。
- 接続ダクトは外形寸法図に示すダクト径の塩化ビニル管・アルミフレキシブルダクト・銅板管のいずれかをご用意ください。

1. 安全のために必ず守ること

誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

<p>警告 誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性のあるもの</p> <ul style="list-style-type: none"> ●内装式風呂を据付けた浴室には据付けない 排気ガスが浴室内に逆流し、一酸化炭素中毒をおこす原因。 ●ガス漏れに気付いたときは、換気扇のスイッチの入・切をしない 爆発・引火の原因。 ●製品に直接水やお湯、かび取り剤などをかけない ショート・感電の原因。 ●改造や工事を必要とする分解はしない 火災・感電・けがの原因。 分解・修理は修理技術者のいる販売店または当社のお客さま相談窓口にご相談ください。 ●交流100Vを使用する 火災・感電の原因。 ●メタルスリ、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の建築物に金属製ダクトが貫通する場合、金属ダクトとメタルスリ、ワイヤラス、金属板とが電気的に接触しないよう据付ける 漏電した場合発火の原因。 ●濡気が多い場所ではアースを確実に取付ける 故障や漏電のときに感電の原因。 	<p>注意 誤った取扱いをしたとき、傷害または家産・家財などの損害に結びつくもの</p> <ul style="list-style-type: none"> ●浴室内に壁スイッチを設けない 感電の原因。 ●直接炎のあたるとおそれのある場所や油煙・有機溶剤・可燃性ガスのある場所には据付けない。 また使用しない 火災の原因。 ●本体の据付けは十分強度のあるところを選んで確実に行う 落下によりけがの原因。 ●部品の据付けは確実に行う 落下によりけがの原因。 ●据付けの際は必ず手袋を着用する けがの原因。 ●電気工事は電気設備技術基準や内線規程に従って安全・確実に行う 接続不良や誤った電気工事は感電・火災の原因。
--	--

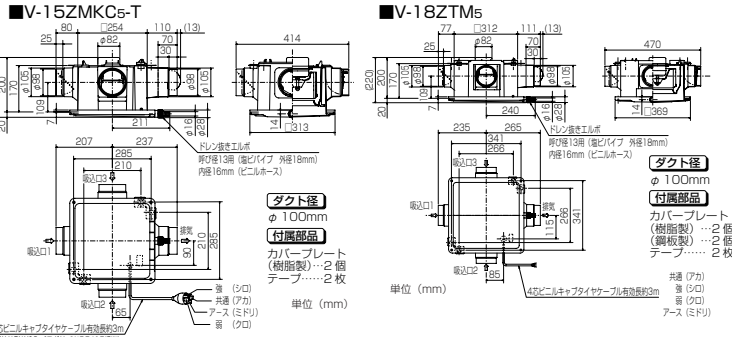
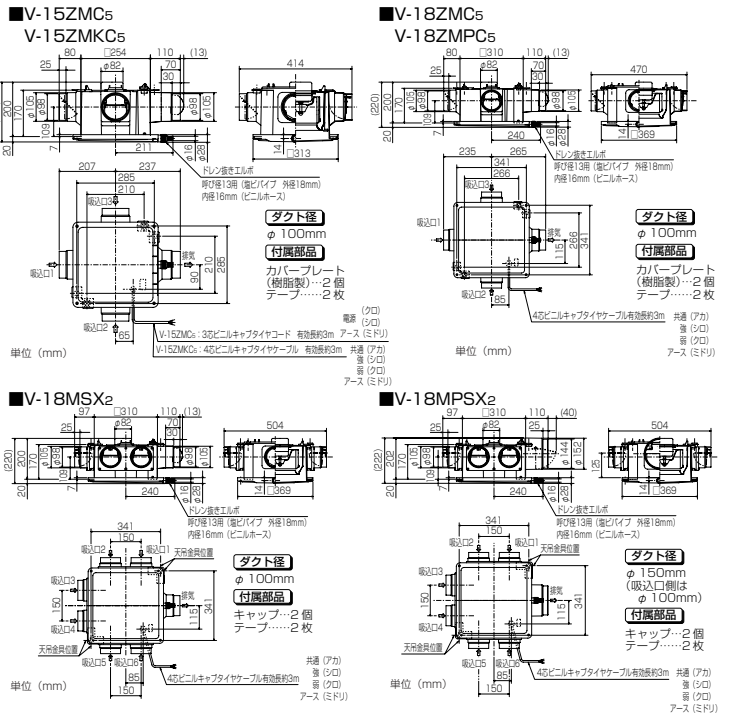
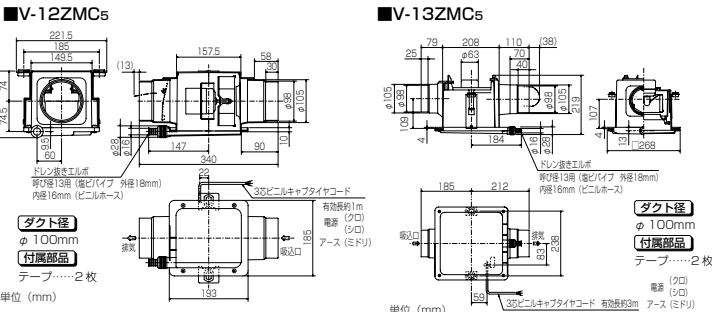
2. 据付け前のお願い

- お願い**
- 本体の真下に保守点検口（□450）を必ず設けてください。
 - 点検口がない場合の本体修理などで、天井などを壊す場合は、お客さまの費用ご負担となります。あらかじめご了承ください。
 - 24時間換気機能を得るためには下記点に留意ください。
 - ドアのアンダーカットなどにより空気の流通経路を確保してください。
 - 排気口が外風の影響を受ける場所（高層住宅等）には据付けないでください。風量が低下し、換気量が不足するおそれがあります。

- 据付場所**
- 浴室など濡気が多い場所に吸込口グリルを据付ける場合は、グリルから水滴が落ちて不快感にならない場所に据付けてください。
 - 騒音を重視する寝室などに吸込口グリルを据付ける場合は、システム部材のフレキシサイレンサーか中間取付形ストレートサイレンサーを使用すると約100dBの消音効果があります。（サイレンサーは浴室など濡気が多い所では使用しないでください）

- 天井・ダクト工事**
- 排気ダクトは雨水の浸入を防ぐため屋外に向けて1/100以上の下り勾配をつけてください。
 - 排気ダクトの先端には、鳥などの侵入を防ぐためのペントキャップ、または雨水などの浸入を防ぐための深形フード、外風が強いところでは耐外風フードなどのシステム部材を据付けてください。
 - 次のようなダクト工事はしないでください。風量低下や異常音発生の原因となります。
 - 緩やかな曲げ
 - 多数の曲げ
 - しぼり
 - 吐出口のすくそばでの曲げ
- 据付け前に、必ず排気ダクト、ダクト用システム部材に異常（排気ダクトのつぶれ、ほこり詰まりなど）がないか確認してください。風量低下や異常音発生の原因となります。

3. 外形寸法図



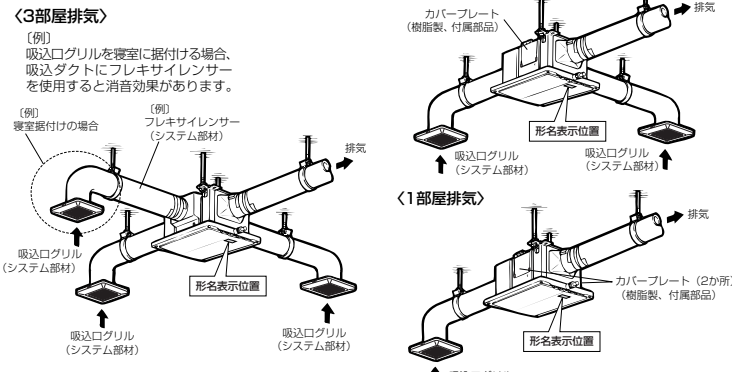
- 付属部品**
- カバープレート（樹脂製）
 - カバープレート（銅板製）
 - キャップ
 - テープ
- ※V-12ZMC5、V-13ZMC5、V-18MSX2、V-18MPSX2にはテープは使用しません。

4. 据付方法

1 据付け前の準備

本体の据付位置・吸込方向・排気方向を決めます。

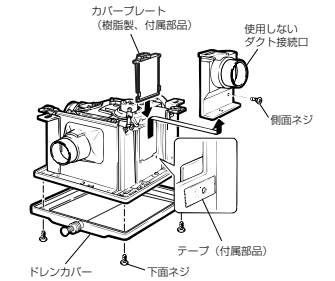
- V-15ZMC5・V-15ZMKC5・V-15ZMKC5-T
V-18ZMC5・V-18ZMPC5



※2部屋排気・1部屋排気の場合、吸込方向は上図以外の据付方向も選択できます。

2 部屋排気・1 部屋排気の場合

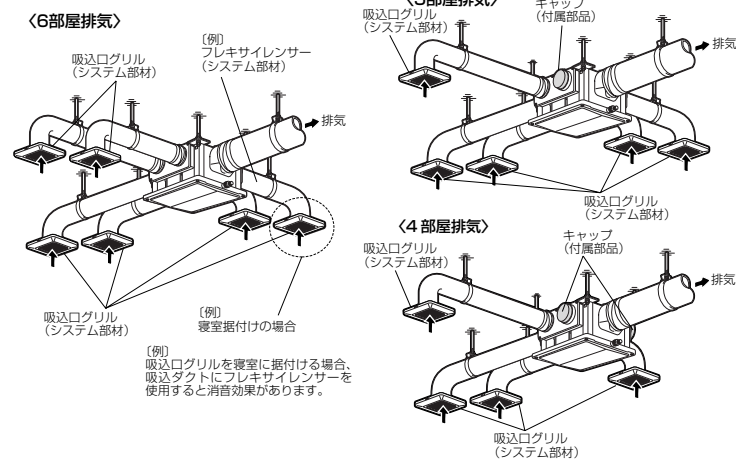
- （1）下面ネジを4本はし、ドレンカバーをはすす。
- （2）側面ネジ1本（または2本）をはすし、使用しないダクト接続口をはすす。
- （3）ダクト接続口をはすした箇所に付属のカバープレート（樹脂製）を取付ける。
- （4）付属のテープでネジをふさぐ。
- （5）ドレンカバーを下面ネジ4本で取付ける。



4. 据付方法 つづき

1 据付け前の準備 つづき

■V-18MSX₂・V-18MPSX₂

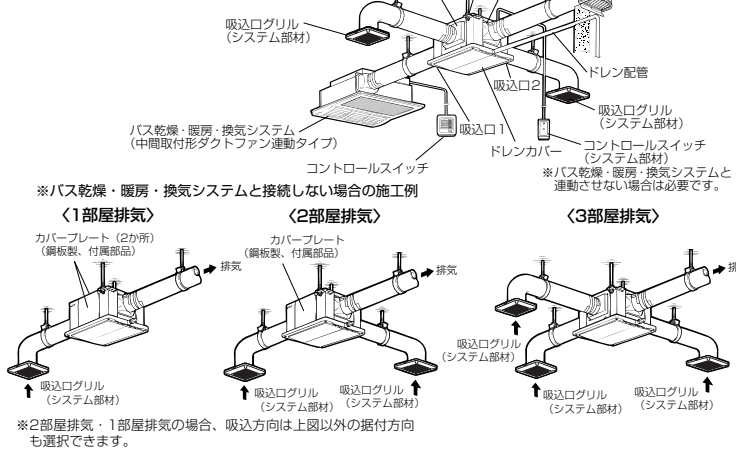


5部屋排気・4部屋排気の場合

- 使用しないダクト接続口に付属のキャップを取付ける。
- 風漏れのないようアルミテープ（市販品）でテーピングする。

■V-18ZTM₅の場合

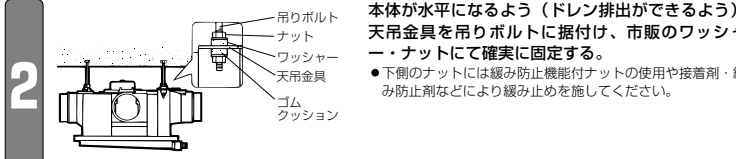
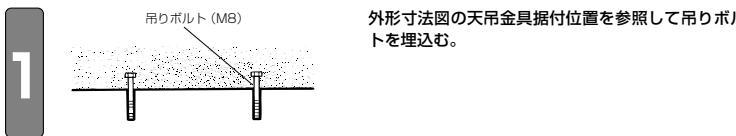
※吸込口のうち1つはバス乾燥・暖房・換気システム（中間取付形ダクトファン連動タイプ）の排気ダクトと接続できます。



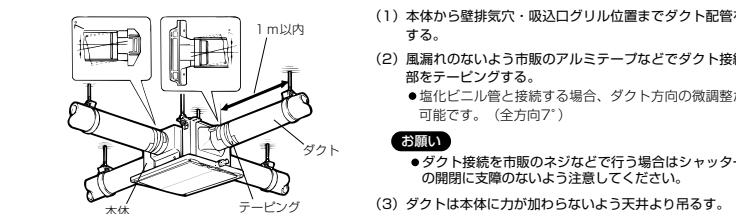
2部屋排気・1部屋排気の場合

- 下面ネジを4本はずし、ドレンカバーをはずす。
 - 側面ネジ1本はずし、銅板製のカバープレートと使用しないダクト接続口をはずす。
 - 付属の樹脂製のカバープレートを取付ける。
 - 付属の銅板製のカバープレートをそのまま金属枠に取付け、はずした側面ネジで固定する。
 - ドレンカバーを下面ネジ4本で取付ける。
- お願い**
- 銅板製のカバープレートがたつ場合は、付属のテープで本体ネジ穴をふさぎ、カバープレート中央の穴で本体に固定してください。

2 本体を吊る

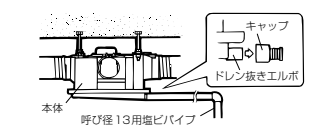


3 ダクト接続

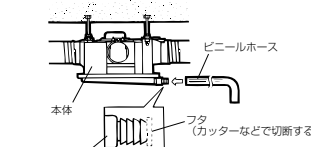


4 ドレン抜き処理

浴室など湿気の多い場所の換気を行う場合には、必ずドレン抜き処理を行う。



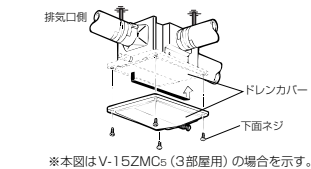
- 硬質塩ビパイプを据付ける場合
- 本体下面にあるドレン抜きエルボのキャップをはずす。
 - 呼び径13用塩ビパイプで接続する。
 - 接続部分から水もれないようシール材を塗布する。



- ビニールホースを据付ける場合
- 本体下面にあるドレン抜きエルボのキャップをはずし、エルボに塩ビ用接着剤を塗布し、キャップを接着する。
 - 先端のフタをカッターなどで切断したあと、ビニールホースを奥まで差し込み、ホースバンドで確実に固定する。

※本図はV-15ZMC₅（3部屋用）の場合を示す。

ドレン排出方向の変更

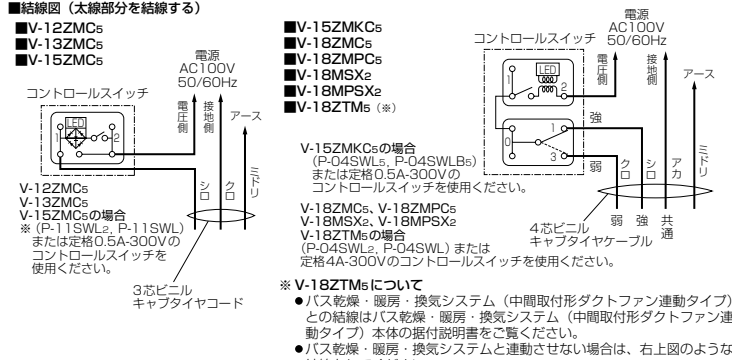


※本図はV-15ZMC₅（3部屋用）の場合を示す。

5 電気工事

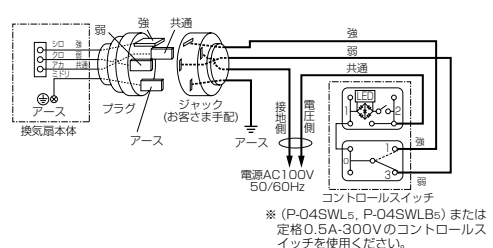
■電線工士の接続や接地工事を行う場合は電気工事士の方が「電気設備に関する技術基準を定める省令（及び同解説）」及び「内線規程」に従い実施してください。

- 電気結線を間違えますとモーターが故障します。誤結線によるモーター故障の場合、サービス費用（交換部品代含む）はお客様負担となりますので結線図を十分確認の上、結線してください。
- 据付・点検・修理時に電線の皮むき部に手を触れないでください。コンデンサの帯電により感電するおそれがあります。（V-15ZMC₅、V-18ZMC₅、V-18MSX₂の場合）
- 電源電線（屋内配線 VVFケーブルφ1.6、φ2）は接続部力が加わらないようにたるみをもたせ、本体・モーターに触れないように配線してください。
- 浴室など湿気が多いところで使用する場合は必ずD種接地工事（アース）を行ってください。
- 浴室など湿気が多いところで使用する場合は漏電ブレーカーを取付けてください。



■V-15ZMC₅-T

- 電源プラグと同形のコンセントを掛けて差し込む。
- 電源コード先端には、3極接地形差込みプラグ（7A, 125V, WVF5415相当品）がついていますので同形のコンセントを取付ける。



※P-04SWL₅又はP-04SWLなどの24時間換気対応のコントロールスイッチを使用せずには24時間換気運転する場合は、スイッチを容易に停止されない工夫が必要です。

■電圧チェック表

●結線する前に線間電圧が右記の電圧であることを確認してください。

スイッチ	測定	共通-強	共通-弱
切	0	0	0
強	100	0	0
弱	0	100	0

充電部に接触しないよう十分注意してください。

6 天井材を張る

- 天井材を張ります。
- お願い**
- メンテナンスが行えるよう本体の真下のドレンカバーが取りはずせる位置に保守点検口（□450）を必ず設けてください。
 - 点検口が設置されていない場合、無償保障期間内であっても製品修理する為に必要となる天井その他の取り壊し及び修理費用は工事店様負担になります。

7 吸込口グリルの据付け

システム部材または市販のグリルを使用し、それに同梱の据付説明書を参照して据付けてください。

5. 試運転

■試運転時に、次のような症状があれば点検してください。

こんなとき	原因	点検・処置
電源スイッチを入れても羽根が回転しない	分電盤のブレーカーが「切」になっている 正しく結線されていない	ブレーカーを「入」にする 結線を確認する（スイッチ部/電源線接続部） ※換気扇にAC100Vが供給されていることを確認する。
運転中に異常音や振動がする	本体・ドレンパンが確実に据付けられていない 羽根・吸込口グリルに異物が付着している	据付け直す 異物を取り除く